

きれいな甲斐

No.49 JANUARY 2010

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。

環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみならずのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし

事務局 ● 〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県環境創造課内
TEL.055-223-1503 FAX.055-223-1507 〆kankyo-sozo@pref.yamanashi.lg.jp
URL <http://www.pref.yamanashi.jp/kankyo-sozo/60200266375.html>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

発行責任者 ● 広報専門部長 神宮寺 聡

やまなし環境活動推進ネットワーク フォーラムのご案内

環境パートナーシップやまなしでは、「やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム」を(財)やまなし環境財団と合同で開催します。

このネットワークフォーラムは、県内で環境保全に向けた活動を行っている個人・団体・企業等による活動発表を通じて、より多くの人たちが実践できる具体的な方法を考え合い、その解決に取り組んでいく機会としていくとともに、参加者相互の情報交流とネットワークづくりの推進を図ることを目的としています。

ネットワークフォーラムでは、(財)やまなし環境財団の若宮賞の表彰式のほか、環境保全に積極的な取り組みをしている企業や団体から、現在の活動内容や取り組んでいきたいこと、活動にあたっての課題などについて発表します。その後、全ての出席者が参加し、「地域における環境保全の取り組み」と「パートナーシップによる3R運動の推進」の2つのテーマに分かれて、ワークショップを開催します。

「ネットワークを広げたい」「環境活動を始めたいけれどどうしたらいいの?」という方、「ワークショップに参加してみたい」と興味をお持ちの方など、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

- ◆ 日時 平成22年1月23日(土) 午後1時～4時15分(受付は0時30分から)
- ◆ 会場 ぴゅあ総合(男女共同参画推進センター)
甲府市朝気1-2-2 電話 055-235-4171
- ◆ 参加費 無料
- ◆ 主催 環境パートナーシップやまなし、財団法人やまなし環境財団
～～参加していただいた方には、ドギーバッグをプレゼントします!!～～

◆プログラム◆

- やまなし環境財団「若宮賞」表彰式・感謝状贈呈式【午後1時～1時30分】
- ネットワークフォーラム【1時30分～4時15分】

<発表団体>

- ① NPO法人 おおつきエコビレッジ
- ② 流美会
- ③ ㈱やまと(スーパーやまと)
- ④ 山梨県森林環境部環境創造課

★参加希望者は、住所、氏名、希望するワークショップのテーマ(①地域における環境保全の取り組み ②パートナーシップによる3R運動の推進 ③どちらでも良いのうちから1つを選択)を記載した申込書(様式自由)を下記事務局あてに送付してください。なお、ワークショップ参加テーマについては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【申込先】環境パートナーシップやまなし事務局

TEL:055-223-1503 FAX:055-223-1507

E-mail kankyo-sozo@pref.yamanashi.lg.jp

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 山梨県森林環境部環境創造課内

★申込締切 平成22年1月21日(木)

★駐車台数に限りがありますので、お車をご利用の方は、できるだけ乗り合わせてお越しくくださいますようご協力をお願いいたします。

子富士の会の取り組み

山梨県ボランティア協会

子富士の会は、平成12年8月に「緑の協力隊やまなし甲府隊（内蒙古自治区クブチ沙漠の緑化活動）」に参加した大学生が、現地での植林ボランティアを通して、郷土山梨に戻ってからも何か環境活動をしていきたいという思いから有志が集まり、(財)富士山をきれいにする会の青少年版として富士山の清掃活動をスタートしました。

第1回目は、富士山がゴミの山と報道されていた時のことでした。実際に行ってみると家電製品やタイヤなど手では拾いきれない大きいゴミが沢山あり、驚きと同時に悲しい気持ちになったことを今でも鮮明に覚えています。

活動を継続している中で、参加者と富士山も変化を見せてきました。今年度も9月に活動



■清掃活動の様子

を行いました。大学生だけでなく、小学生から一般の方まで幅広い年代層で、企業の皆さんにも協賛いただくようになり、バス4台で総勢160名が参加するようになってきました。

清掃活動はもちろんですが、大勢で参加することで登山客の皆さんへのマナー向上の啓発活動にも繋がってきています。

また、富士山も現在では粗大ゴミは全くなくゴミもほとんどない状況となり年々美しくなる富士山を実感できています。参加者の皆さんは、富士山の清掃活動を通して環境ボランティアについて考える機会となり、ゴミの持ち帰りなど身近にできる活動へと繋がっています。



■ゴミの分別作業の様子

しかし、全くゴミがないわけではなく空き缶やタバコの吸い殻などゴミがまだまだ落ちています。これからも、ゴミが全く落ちてない美しい富士山をみんなで見る日が来るまで、活動を継続していきたいと思えます。

お問い合わせ

子富士の会事務局

山梨県ボランティア・NPOセンター内
甲府市丸の内2-35-1

TEL 055-224-2941

FAX 055-232-4087



フードバンク山梨のご案内

フードバンク山梨

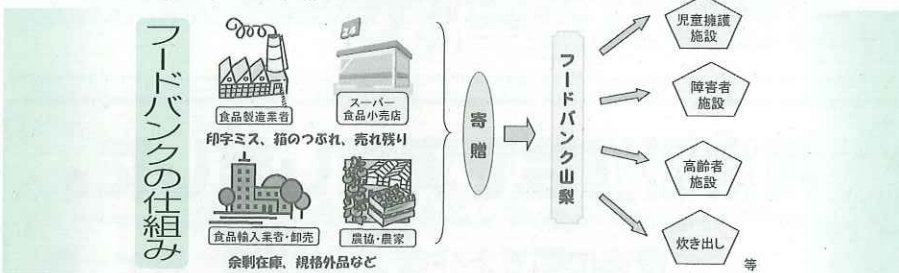
フードバンクとは？

十分に安全に食べられるのに、箱が壊れたり、印字が薄くなったりして、販売できない食品を企業や農家から寄贈してもらい、必要としている施設や団体に無償で提供する活動です。

世界では、飢餓に苦しむ人々が10億人に達し、3秒に1人のこどもが5歳未満で命を落としています。一方、日本では、1人1日当たり1食分の食料が廃棄されています。

フードバンク山梨は、山梨県における食のセーフティーネット（安全網）を支えるフードバンクシステムを構築し、市民・企業・行政・福祉施設の皆さんと協働し、食べ物が無駄なく消費され、誰もが食を分かち合える心豊かな社会づくりをめざして平成20年10月に設立されました。

現在は、県内外の食品企業や農家からの寄贈品を集め、県内の福祉施設や団体、生活困窮者に提供品を配布するなどの活動をしています。また、昨年末には、家庭からの保存食品を集め、支援を必要としている方に提供する「フードドライブ」という取り組みを実施しました。



開所式の様子



フードドライブの様子

フードバンク山梨では、食品提供をしてくださる企業や農家の方、配送や仕分け等を手伝ってくださるボランティアの方を募集しています。

＜問い合わせ先＞ NPO法人 フードバンク山梨
山梨県南アルプス市小笠原317 サンシャインビル1F
TEL・FAX 055-282-8798

「やまなしエコティーチャーを派遣します!!」県環境創造課

山梨県では、県民の皆様の環境の保全・創造に関する知識の啓発及び意欲の増進を図るため「やまなしエコティーチャー」の派遣を行っています。この制度は、環境の分野において専門的な知識や豊富な経験をお持ちの方々に「やまなしエコティーチャー」として登録し、地域活動グループや自治会、学校などにおける研修会や講演会に派遣するもので、企業がその社員に対して実施する研修会等も派遣対象としています。

現在、「やまなしエコティーチャー」には、自然環境分野20名、生活環境分野21名の環境に関するエキスパートが登録されています。エコティーチャー登録簿は、環境創造課のHPでご覧になれます。

ごみ減量・リサイクルなどの身近な環境問題から地球温暖化防止・エネルギーなどの地球環境問題、自然保護や観察会など講義内容はバラエティに富んでおり、ご希望のテーマにあったエコティーチャーを派遣させていただきます。

なお、エコティーチャーの派遣に関する経費（謝金・旅費）は、予算の範囲内で県が負担します。お気軽、お手軽に環境に関する研修会、講演会を開催してみませんか？

【派遣対象】

- 研修会等の主催者… 地域活動グループ、自治会、学校、PTA、その他各種団体
- 研修会等の内容…… 自然保護、環境美化、ごみ減量、リサイクル、省資源・省エネルギーなどの環境保全活動などに関する研修会、観察会など
- 参加者数…………… おおむね30名以上
- ※主催者が同一である研修会等への派遣は、同一年度において2回までとします。



やまなしエコティーチャー派遣に関する問い合わせ・申込みは・・・

中北林務環境事務所 電話 0551-23-3090 峡東林務環境事務所 電話 0553-20-2739
 峡南林務環境事務所 電話 055-240-4141 富士・東部林務環境事務所 電話 0554-45-7811
 山梨県森林環境部環境創造課環境保全担当 電話 055-223-1503
 HP <http://www.pref.yamanashi.jp/kankysozo/index.html>

やまなしエコティーチャー

検索

ドギーバッグを使ってみませんか

スペースふう

ドギーバッグとは、外食した際に食べ残した料理を家に持ち帰るための容器です。食べ残しを持って帰るのは恥ずかしいので、“犬の餌にする”という名目で持ち帰っていたことが始まりで、ドギーバッグと言われるようになったようです。

昨年7月、スペースふうでは、ヴァンフォーレ甲府のホームゲーム会場である甲府市小瀬スポーツ公園において、試合を観に来た来場者や運営スタッフを含めた関係者のものを大切にする意識(mottainai:もったいない)を高めることを目的として、ヴァンフォーレ甲府のキャラクターであるヴァン君とフォーレちゃんのイラストを使用したオリジナルのドギーバッグを作成し、来場者等に配布するとともに、食べ残しをなくすように呼びかけました。

皆さんもドギーバッグを使うことで、無駄をなくして「もったいない」を実践し、エコな社会を作りましょう!!



ドギーバッグ(上)
と配布の様子(左)



会員リレートーク Vol.10

視察研修会を実施しました。

環境に関する企業連絡協議会 井上 寛

当協議会は、県内の企業250社の集まりで、活動の主旨として21世紀に私たちが目指すべき「循環型社会」の実現に向け、地球温暖化防止活動に関わる省エネルギー・省資源やゴミの減量化等、各企業が身近に取り組むことが出来る事業を促進してきました。

産業も多岐に亘っており、日頃は、業種グループ毎に構成された専門部会での活動が中心となりますが、年に一回会員全体に呼びかけをして、視察研修会を実施しております。最先端の技術を駆使した環境問題への取り組み状況、企業活動を視察することで参加者がそれぞれの立場で自身の企業活動に反映できればとの意図で実施しております。

本年は、「東京電力富津火力発電所」を視察しました。総出力は、現在420万KWで、計画設備の全てが営業運転されると世界最大級の火力発電所となります。環境保全への取り組みとして、①クリーンなエネルギー(LNG)の使用 ②コンバインドサイクル発電による高い熱効率の実現と燃料消費量の削減および二酸化炭素の発生量の抑制 ③水質保全 ④廃棄物リサイクル100%の実現があげられます。また、76万㎡の広大な敷地の約1/4は緑化され、40万本余りの樹木が植えられているそうで、実際に野鳥のさえずりを聞くことが出来ました。あらためて環境保全への取り組みの大切さを実感した一日となりました。

世界に目を向けると、おりしもCOP15では、世界の首脳が一堂に会し、地球温暖化対策について白熱した議論を展開しております。今こそ、私たち一人一人が環境問題に対して再認識すべきときではないでしょうか。



研修の様子

●投稿募集中

【会員紹介コーナー】

①スペースはA5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地(事務局または事務所等)、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

【行事予定】

○団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等です。